

備前市 事務事業評価表

事務事業名	非常備消防施設管理事業	コード	01-04-02-09
		担当課・係	総務課消防防係
		担当者	中島 和久
		電話	64-1809
事業実施期間	昭和46年度から		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	消防・防災(消防体制の整備、充実)	

事業について	
目的 (何のために)	消防団の消防器庫(詰所)等を維持、管理することにより、災害時での消防団や地元地域の活動拠点として、円滑な災害対応を図る。
対象 (誰・何を対象に)	消防団、地元住民
内容	消防器庫の維持管理

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	19年度
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
消防器庫数	74 箇所	74 箇所	
ホース数	67 本	22 本	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,480	間接補助金等		直接事業費	1,564	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	2,420	受益者負担		人件費	2,355	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,900	一般財源等	4,900	合計	3,919	一般財源等	3,919	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.35 人	0.35 人	
結果指標	結果指標名	消防器庫維持管理費	消防器庫維持管理費
	結果指標量	74	74
	単位	箇所	箇所
	対前年比	-	100.00%
	活動にかかるコスト	2,203,000 円	2,810,000 円
	単位当たりコスト	29,770 円	37,973 円
結果指標	結果指標名	ホース数	ホース数
	結果指標量	67	22
	単位	本	本
	対前年比	-	32.84%
	活動にかかるコスト	2,697,000 円	1,109,000 円
	単位当たりコスト	40,254 円	50,409 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用		
成果指標名	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用	式又は説明	消防器庫に係る経費÷箇所数
	17年度	18年度	
成果指標量	29,770	37,973	
対前年比	-	127.55%	0.00%
到達目標値	37,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 消防組織法	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	消防器庫(詰所)は、消防団の活動拠点のみならず、地域の防災拠点として重要な施設である。適切な維持管理を実施することは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	消防器庫の電気代、水道代は基本料金に近い額で推移しており、毎月確認することにより、適切な維持管理を行っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況			
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	74	結果指標量
	成果指標量		22
			37,900

総合評価	評価区分 <A~E> C
消防器庫が74箇所あり、団員数や活動実態に合わせて、統廃合を検討する必要があるが、地域での防災活動拠点としての機能もあり、最低限の維持管理は必要である。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	効率のよい消防団の消防器庫の配置を検討すべき	平成20年度以降	消防器庫の維持管理経費の削減